

相談支援部だより

埼玉県立浦和特別支援学校 相談支援部
令和5年度 9月号

記録的な残暑に見舞われた8月、9月でしたが、このところ朝晩の気温が下がり始め、秋の気配が感じられるようになってきました。9月で前期が終了となり、10月からは一年間のまとめに向かう後期を迎えます。一人一人の成長や成果を次につなげるステップを着実に踏んでいきたいですね。

さて、今回の相談支援部だよりですが、学校支援ボランティア養成講座の様子や、本校に届いております外部機関等からの各種ご案内についてお伝えいたします。

学校支援ボランティア養成講座

本校で日頃よりご活躍いただいている学校支援ボランティアの皆様には、規定の時数である講義研修・体験研修を受講した後、実際のボランティア活動へ取り組んでいただいております。

今年度も例年同様Ⅰ期、Ⅱ期の計2回の研修を予定しており、Ⅰ期につきましては去る8月28日・29日の2日間、計10名の方に受講していただきました。

講義研修では、本校の概要や施設の紹介の他、さいたま市社会福祉協議会・緑区事務所の主事様より、ボランティアとして活動する上での心構えや児童生徒たちの特性の理解等を学びました。

体験研修では、実際のボランティア活動へ取り組む機会を設定して、本校の児童生徒と学習活動に参加したり、給食や掃除の時間を一緒に過ごしたりしました。



発達障害の理解啓発を進める県民向け講演会「発達障害のある子どもの育ちと育みの理解と支え」

～以下は通知、チラシより抜粋～

発達障害のある子どもでは、認知や行動のパターンに違いがあり、そのために家庭や学校の生活で困難に直面することも少なくありません。

また、子育てでも養育者が困難を感じることも多く、被虐待のリスク因子であることも知られています。発達障害のある子どもからみたとき世界はどのように見え、どのような育ちをしていくのでしょうか、また、その育ちや育みを支えるには、どのような工夫が必要なのでしょうか。皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

講師：岡田 俊氏（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 知的・発達障害研究部 部長）

日時：令和5年11月4日（土） 10時20分から12時

場所：埼玉県発達障害総合支援センター 研修室

主催：埼玉県、（公財）明治安田こころの健康財団

備考：事前申込制

詳細、ならびにチラシは、[こちら](#)をご覧ください。

なお、上記ご案内につきまして、ご利用、ご活用は各自でご対応願います（本校を通してのご対応はいたしかねます）。